

校庭の緑化から学ぶ、芝生管理の工夫と失敗しない設計のポイント

都市のオアシスを育む 「校庭芝生化」の軌跡と実践技術

都市部に残された貴重な緑化空間として、「学校」が注目を集めています。2007年頃から都市化の進んだ自治体で校庭芝生化の補助制度がスタートし、保護者や教員、地域ボランティアの連携によってその維持管理が支えられてきました。

□本講演のみどころ

都市緑化機構がこれまでのボランティアへの技術支援を通じて蓄積した、現場ならではのリアルな知見をお話いただきます。

校庭ならではの維持管理術：ボランティアと連携した持続可能な管理の工夫と独自のアプローチ。

実践的な設計のポイント：校庭という特殊環境だけでなく、一般の芝生地にも幅広く応用できる設計上の留意点。
地域コミュニティとの連携：校庭開放利用団体など、多様な主体を巻き込んだ都市緑化推進のヒントを示す。



自動芝刈り機



スプリンクラー（ギアドライブ式）

■ 概要

- ・日 時：令和8年 10月20日(火)
16:15～18:15（16:10入室開始）
- ・講師：セントラルコンサルタント株式会社 一條 良賢 氏
- ・参加費：無料
- ・対象：どなたでも参加OK
- ・開催方法：オンライン(Zoom)
- ・申込締切：令和8年 10月19日(月)15:00
- ・造園CPD認定プログラム(2単位)



🔗 お申込はQRコードから
<https://forms.gle/73cXndcph3fo3MVk8>